

ソルコマット NETIS登録製品

のり面保護・浸食防止ブロックマット



ソルコマットの特長

- 強く耐久性のある合成繊維から作られたフィルタークロスの上に、独特な形をしたコンクリートブロックを接着剤にて固定し、マット状にした製品です。
- 工場で所要の長さ(2~8m)の製品を作ることができるので、施工が大幅に合理化され、工期縮減・コスト縮減が図れます。
- フィルタークロスとブロック開口部を通して植物が再生し、自然環境を維持します。
- 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に法勾配が1:1.5以上の場合で、設計流速が4m/sまで適用可能と明記されています。
- ブロック内空隙の適度な含水、植物の根の伸長促進、客土の流出抑制、生態系の保全・回復に優れたポーラスコンクリート製品もあります。
- オプションとして人工ゼオライト混入により、水質浄化機能を発揮します。
- 護岸ブロックの水理特性値証明書を取得しており、「護岸の力学設計法」に基づいて設計を行います。



水理特性値証明書

1 浸食防止に最適です

コンクリートブロックとフィルタークロスの組合せによって地表面を保護します。

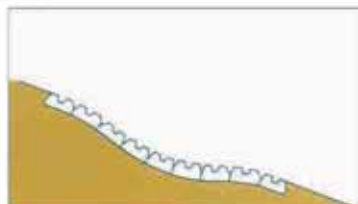
2 透水性に優れています

地表面の水は、ブロック開口部からフィルタークロスを通して万遍なく下の土壤に吸収されます。また、法面背後の水は、フィルタークロスとブロックの開口部を通して地表部へ浸透し、しかも土壤はフィルタークロスの網目によって流出を防がれることにより、地中の内部水圧を減少し、法面の崩壊を防ぎます。



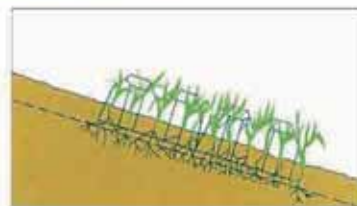
3 たわみやすい

たわみやすく、時間の経過にしたがい地面になじみ密着します。



4 植物が再生できて自然の美観を維持します

フィルタークロスの網目を通りブロックの開口部から植物が再生できます。植物の根はマットと土を一体化し、確固とした保護を与えます。さらに、繁茂した植物は、自ら浸食防止の役目をするようになります。



5 施工が簡単・迅速にできます

工場生産にて法面の長さに合わせたマットをつくり、機械力(クレーン)を用いて迅速に施工できます。また、マット敷設に特殊技能工は必要ありません。

6 水中での施工ができます。



施工例

河川護岸



ため池護岸



水路護岸

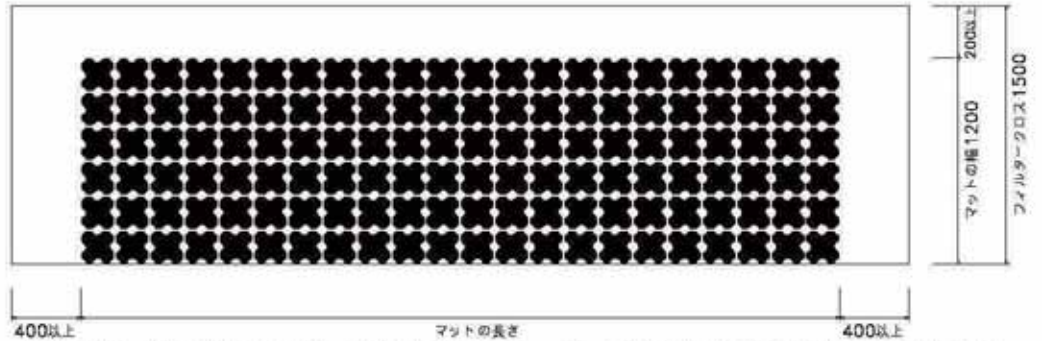


法面保護



ソルコマットの構造規格

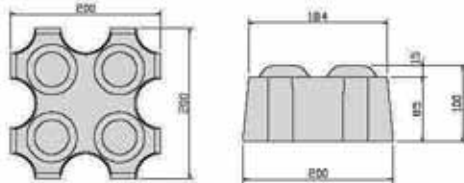
マットの寸法



巾は標準サイズですが、長さは、ご設計に応じて2m～8mの間で調整できますのでご注文下さい。

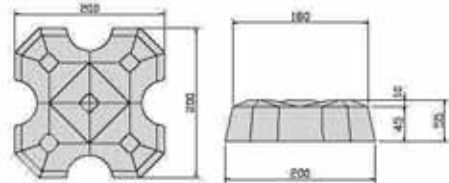
ブロック形状寸法

●標準型



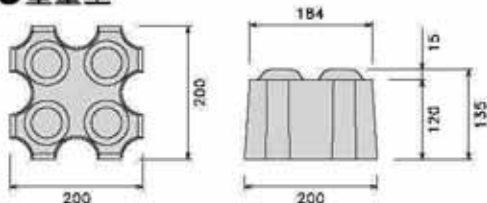
製品材料	普通コンクリート	ポーラスコンクリート
ブロック寸法mm	200x200x100	200x200x100
コンクリート体積m ³	0.0026	0.0026
製品質量 kg/個	5.5	5.0
ブロック個数 個/m ²	25	25
製品質量 kg/m ²	137	125
表面開孔率 %	30	30

●軽量型



製品材料	普通コンクリート	ポーラスコンクリート
ブロック寸法mm	200x200x55	200x200x55
コンクリート体積m ³	0.0014	0.0014
製品質量 kg/個	3.2	2.8
ブロック個数 個/m ²	25	25
製品質量 kg/m ²	80	70
表面開孔率 %	30	30

●重量型



製品材料	普通コンクリート
ブロック寸法mm	200x200x135
コンクリート体積m ³	0.0035
製品質量 kg/個	8.0
ブロック個数 個/m ²	25
製品質量 kg/m ²	200
表面開孔率 %	30

標準型(普通コンクリート) 軽量型(ポーラスコンクリート)



※圧縮強度 18N/mm²以上
 ※単位体積質量
 普通コンクリート 2250kg/m³
 ポーラスコンクリート 2000kg/m³
 ※ポーラスコンクリート 使用骨材7号砕石

呼び名	参考質量 (kg)	寸法 (mm)	1m ² 当り			
			使用個数(個)	参考質量(kg)	価格(円)	
標準型	普通コンクリート	5.5	200×200×100	25	137	
	ポーラスコンクリート	5.0	200×200×100	25	125	
軽量型	普通コンクリート	3.2	200×200×55	25	80	
	ポーラスコンクリート	2.8	200×200×55	25	70	
重量型	普通コンクリート	8.0	200×200×135	25	200	

参考歩掛表

10m²当り

ソルコマット (m ²)	土木一般世話役 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン25t (日)	クランプ損料 (日)	アンカーピン (本)
10.00	0.03	0.17	0.03	0.03	必要量を計上

施工手順

① 整地



施工面は出来るだけ平らに整地します。

② 搬入・仮置



マットを現場に搬入し、施工しやすいように分散して仮置します。

③ 施工



重機によってマットを吊り上げ、所定の施工面に設置します。

④ 施工



フィルタークロスの余端に次のマットのブロック部分を順次重ね合わせます。

⑤ アンカーピン打設



マットの滑動を防止するため、アンカーピンを打ち込みます。

⑥ 施工完了



現場条件により、客土・播種を行います。

アンカーピン

● アンカーピン打設例

記号	形状寸法	工法例	摘要
U-600			
D-600			

法勾配と必要アンカーピン本数

法勾配	必要アンカーピン本数 (本/m)	
	U-600	D-600
1 : 1.0	1.0	2.0
1 : 1.5	0.7	1.4
1 : 1.8	0.6	1.2
1 : 2.0	0.5	1.0
1 : 3.0	0.3	0.6

